



● 学会長インタビュー ●



## 協業へ向けた活力ある議論を

第47回 日本癌治療学会学術集会

会長 杉山 徹 岩手医科大学医学部産婦人科学教室

「がん治療への目線 Perspectives of Clinical Oncology」をテーマに据えた第47回日本癌治療学会学術集会の開催が迫ってまいりました。日本癌治療学会はがん医療に特化した唯一の横断的な学会であり、本学術集会においては、医療者、患者・患者会（キャンサーサバイバー）、行政、企業のそれぞれの目線から日本における「がん治療の現状と変化」について開かれた議論

を熱く交わしていただきます。

充実した臓器別・横断的セッションや、日本のがん医療にかかわる他学会との共催セッション、教育セッションや国際セッションに加え、患者団体や行政、マスコミや文化人も加わって社会的な課題を議論する特別企画シンポジウムや市民公開講座など、多くの方々のニーズに対応できるよう、幅広く、多角的な観点からのプログラム構

成に全精力を傾けてきました。

本学術集会が、医療者の研究発表の場に留まることなく、さまざまな関係者との「協業」を目指して、お互いを知り、共有する場となることで、将来の医療環境の整備に繋がることを期待しております。

会期中、皆様のお力により、活力ある議論が展開されますことを、心より楽しみにお待ちしております。

### 第47回日本癌治療学会学術集会によせて



日本癌治療学会理事長 門田守人

杉山先生には「がん治療への目線」をコンセプトに、患者・家族の目線からがん治療の現状と変化について開かれた議論をという、非常に良い企画を考えていただきました。

治療診断技術の進歩ががん医療を劇的に変え、またがん医療への社会的ニーズが高まっている今、患者、家族と我々医療人とが、同じ人間として対等に医療や生命、死生観について気づきを促し学び合うことが必要とされています。学会期間を通じ、臨床の最前線におられる先生方が、患者さんのために我々に何ができるのか、何をすべきかを考える機会を得られるよう願っています。



第48回日本癌治療学会学術集会会長 三木恒治

日本癌治療学会はおよそ「がん治療」のことなら何でもありの、まさに集学的がん医療集団です。ほかの専門学会では考えられない広汎な知識を仕入れることが可能であり、その知識を自分のがん医療に反映させるだけではなく、患者さんに対して幅広いアドバイスができるという意味でも貴重な学会です。

今回は特に「患者の目線」に軸をおいた様々なプログラムが用意され、医療者のみならず、コメディカル、患者さん、家族を含めたマンパワーを結集し、患者さんにもっと還元できる学会としての期待が寄せられています。多くの情報をどんどん吸収していただいて、これからのがん治療に活かしていただきたいと思います。



NPO法人  
HOPE★プロジェクト  
理事長  
桜井なおみ

日本癌治療学会から  
Cancer Survivorshipの  
発信を！

第47回日本癌治療学会学術集会は、「がん治療の目線」に「患者の目線」が加わる画期的な学会となります。1986年にNCCS\*が掲げたサバイバーの定義は「がん体験者、並びにケアをする人々」と記されています。つまり、本会の参加者は全て「サバイバー」です。サバイバーが一堂に集い、日本の医療を、そして社会の意識を変革する記念すべき会となることを切に願っています。日本の未来をともに描くために。

\*NCCS: The National Coalition for Cancer Survivorship

● NEW JSCO Initiative ●

## スカラーシッププログラムなどの新しい取り組み

第47回日本癌治療学会学術集会では、「開かれた学会」を目指した新しい取り組みがなされている。中でも注目されているのが、がん患者と支援者50名に対して、本学術集会への参加のための交通費や宿泊費を助成する「スカラーシッププログラム」で、日本の医学系の学会において費用を助成して患者を招待するのは初めての試みとなる。また、会場にはがん患者・支援者が期間中の拠点として利用できる「Patient Advocate Lounge」が設置され、ラウンジで開催されるランチョンセミナーで患者自身が最新知見を習得したり、インターネットで情報を収集したり、また全国から集う参加者とのコミュニケーション

の場としても利用できる。

その他にも、携帯電話やパソコンを通してリアルタイムの学会情報が得られる「マイスケジュール」の導入、全ポスターセッションにおいて従来の紙のポスター掲示と電子媒体のデジタルポス

ターを併用する「ハイブリッドポスターシステム (HyPos)」の採用、毎日会場にて配布される学会速報紙「JSCO DAILY NEWS」の発行など、参加者を支援するさまざまなツールが用意されている。

# JSCO DAILY NEWS

会場メインホール付近  
および展示ブースなどで

**無料配布**

10月22日(木)・23日(金)・24日(土)

お勧めセッションや注目演題の紹介、インタビューやコラムのほか、企業展示案内などの情報も満載です。

● 会場アクセス ●

**会場案内**

**会議センター:**  
参加登録、PC受付、クローク、口演会場、ランチョン整理券発券

**国立大ホール:**  
口演会場

**展示ホール:**  
ポスター・機器展示会場、リフレッシュメント・物産コーナー

**アネックスホール:**  
口演会場、ランチョン整理券発券

**アクセス**

みなとみらい線 みなとみらい駅より:  
徒歩3分

JR線・市営地下鉄 桜木町駅より:  
徒歩12分/市営バス7分(バスターミナル4番のりば) / タクシー5分

JR線 横浜駅より:  
タクシー7分 / シーバス(船)10分(東口そごう2Fかもめ歩道橋下のりば)